

第5期 きらっとあさひプランってなあに？

旭区**地域福祉保健計画**の愛称です。
身近なまちに知り合いが増え、
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが
地域の皆さんとともに取り組みます。



基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

地区別 計画

地区ごとの課題
に対する取組

区全域 計画

区全域に共通する課題
に対する取組
地区別計画を
支える取組

きらっとあさひプランを
みんなで話し合い、確認しながら
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター
あさひくん

一つひとつの取組が
「安心して自分らしく暮らせるまち」
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん
きらっとあさひプランの
詳細はこちら



希望が丘南地区

南希望が丘※
善部町※
※ 他の地区にもまたがっています。

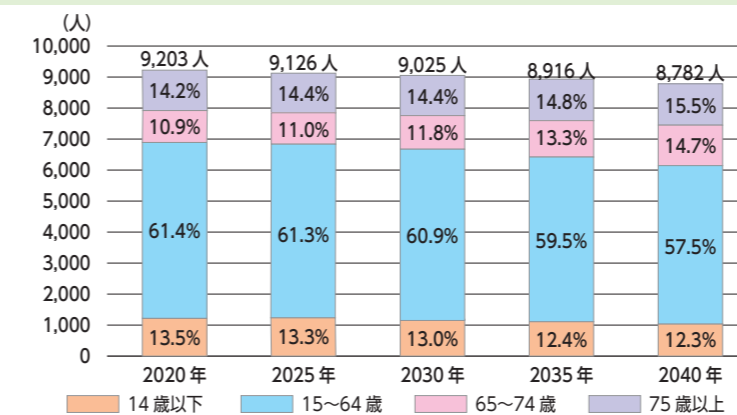
あなたのまちは、どんなまち？



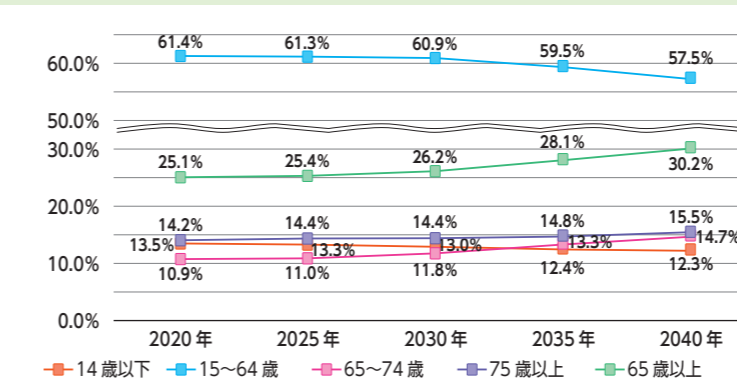
希望が丘南地区は、区の最南端に位置し、地区内を数本の二俣川支流が東西に流れています。起伏に富んだ南北斜面を繰り返す丘陵地には、静かな家並みの戸建て住宅地、公園や集合住宅が点在しています。
また、緑あふれる里山の風景も残されており、創建寛永5(1628)年の古刹や神社、ねこ塚などのスポットもあります。ひとと歴史と自然が魅力の地区です。

今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約9,100人で、
今後はゆるやかな減少傾向で推移
すると見込まれます。
2030年には、14歳以下は13%、
65歳以上は26.2%となる見込み
です。

目指す
まちの姿

希望が丘南地区

ご近所が仲良く声をかけ合い、安心して暮らせるまち

これまでの取組

- 多世代が気軽に立ち寄れる場所づくりを行っている「チームよろず場」が、地区内の多様な居場所を1枚にまとめた「希望が丘南地区居場所マップ」を作成した。近隣の小学校の町歩きや、新たな居場所の立ち上げに繋がっている。
- 「災害時みんなが生き残るために」をテーマとする「町の防災組織連絡会」を立ち上げた。研修会の実施や、オレンジリボンによる安否確認訓練などを行い、地域全体の防災意識の向上につながった。

推進体制

希望が丘南地区連合自治会、希望が丘南地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、スポーツ推進委員連絡協議会、青少年指導員協議会、保健活動推進委員会、環境事業推進委員連絡協議会、子ども育成連絡協議会、PTA、各種ボランティア団体

目標と主な取組

目標 A 子どもから高齢者まで気軽に立ち寄れる「場づくり」

- ▶ 世代を超えて交流が進む地域づくりの運営
- ▶ 既存の居場所を大切に応援する「希望が丘南地区居場所マップ」の周知
- ▶ 「ちょこっとベンチ（仮称）」の設置に向けて取り組む（買い物や散歩の途中で気軽に一休みできる場）



希望が丘南地区居場所マップ

目標 B 隣近所で声をかけ合える「ご近助」付き合い

- ▶ 向こう三軒両隣を基本とした顔の見える「ご近助」の関係づくり
- ▶ 個々人の必要に応じて声をかけあえる関係や、困りごとを把握する体制づくり
- ▶ ボランティア団体と民生委員の連携（移動販売、ちょこっと応援団、お元気会、児童見守り安全ボランティアなど）



移動販売



児童見守り安全ボランティア

目標 C 自ら進んで地域活動に参加したくなるきっかけづくり

- ▶ 誰でも気軽に参加できる体制づくり
- ▶ 特技や趣味、好きなことが活かせる機会づくり
- ▶ 各種ボランティア団体の活動の推進
- ▶ ボランティアネットの充実
- ▶ 地域活動の見える化（ふくし祭りでの情報コーナーの設置等）の継続



ふくし祭り情報コーナー



目標 D 災害時みんなが生き残るための体制づくり

- ▶ 平時からのネットワーク構築のため、町の防災組織連絡会の充実と地域防災拠点との連携
- ▶ 防災訓練（オレンジリボンによる安否確認訓練）の充実
- ▶ 一人も取りこぼしのない体制づくりのための災害時要援護者支援事業の継続
- ▶ 防災フェスタによる住民の意識向上



防災フェスタ



オレンジリボンによる安否確認訓練